日報月報ソフト

WRS-REPO

概　要

■ 計測データを帳票・グラフ化させ、エネルギーの見える化を実現

『日報月報ソフト』は、各計測機器のデータからExcelの日報・月報帳票を作成するソフトウェアです。表示間隔や組み合わせなどを自由に設定できるため、使用用途に合わせた管理が可能です。

まずはこれで見える化を！ スタンダードな管理ツール！

型　式

WRS–REPO–□□□

形式	管理点数	内　容	管理パソコン
RS	1024点/64帳票	RS232C対応	1台
LAN		LAN(イーサネット)対応	1台
CS		クライアントサーバ対応	サーバ1台、クライアント最大5台
RSM	2048点/128帳票	RS232C対応	1台
LAM		LAN(イーサネット)対応	1台
CSM		クライアントサーバ対応	サーバ1台、クライアント最大6台

動作環境

対　応　O　S	Windows 8.1 Pro (32bit/64bit) Windows 10 Pro (32bit/64bit) Windows 11 Pro ※弊社ではWindows 10 Pro Version1511、Windows 11 Pro Version21H2 にて動作確認を行っております
関連ソフトウェア	Microsoft Excel
C　P　U	インテル® Core™ 2 Duoプロセッサー(1.8GHz)以上
メ　モ　リ	1GB以上推奨
ハードディスク容量	インストール時、80GB以上の空き
ディスプレイ	XGA (1024×768)以上
COM ポ ー ト	COM1～COM5 ※COM3～COM5はRS232C拡張ボードを使用している時に有効

基本機能

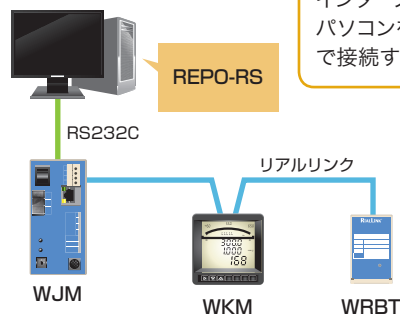
- 帳票及びトレンドグラフで日報・月報を表示（Excel 形式）
- デマンド監視制御、リアルタイムトレンドの作成（オプションソフト使用）

仕　様

管理点数(1帳票)	16項目の任意データを登録可能
管理点数(システム)	1024点 / 64帳票（WRS-REPO-□□） 2048点 / 128帳票(WRS-REPO-□□M)
日報作成単位	10 / 30 / 60 / 120 / 240分から設定可能
アラーム履歴	設定したアラーム条件により監視した結果を最大1000件まで表示
イベント履歴	本ソフトウェア上のイベント状態を最大1000件まで表示
データベース保存	データベースを圧縮して保存が可能
クライアントPC対応	最大6台のパソコン（サーバ×1、クライアント×5）での運用が可能　※CSタイプのみ

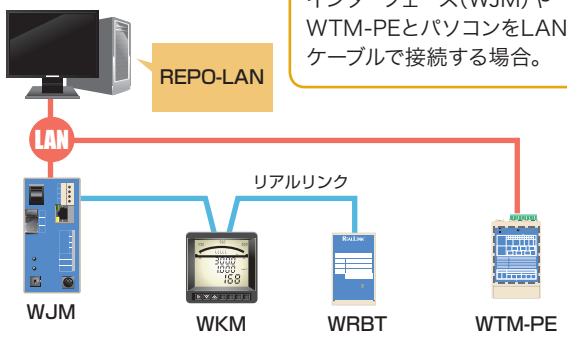
システム構成

●WRS-REPO-RS



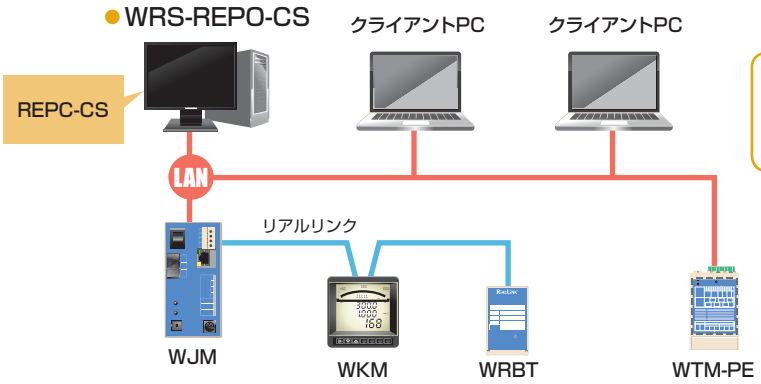
インターフェース(WJM)とパソコンをRS232Cケーブルで接続する場合。

●WRS-REPO-LAN



インターフェース(WJM)やWTM-PEとパソコンをLANケーブルで接続する場合。

●WRS-REPO-CS



同じLANネットワーク上にあるクライアントパソコンからも帳票を出力させる場合。

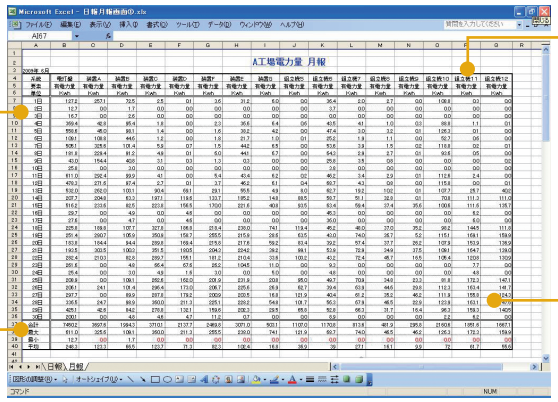
画　面

帳票画面

計測データが自動でExcel帳票化！ 加工も簡単で様々な運用が可能！

日報の出力時間を選択することができます。(最短10分～)

合計値、最大値、最小値、平均値、負荷率など、ポイントごとに必要な集計項目を設定できます。

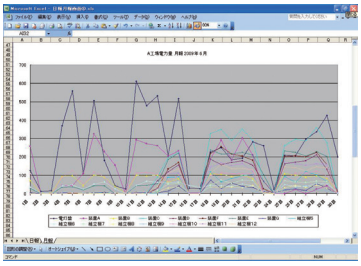


指定したグループの日報・月報をExcel形式で出力します。

1帳票16データまで設定可能。
ユーザが管理しやすいグルーピング設定ができます。

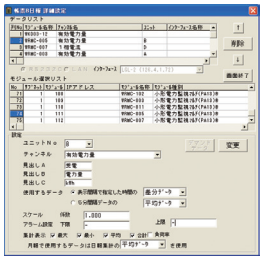
オプションにより、自動印刷や自動保存にも対応可能。
毎日のエネルギーデータ管理の手間が大幅に削減できます。

グラフ画面



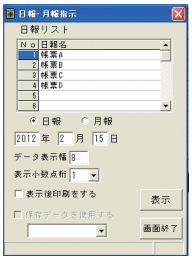
帳票出力したデータをそのままグラフ化することができます。グループ全体のトレンドを簡単に把握することができます。

帳表設定画面



グループの割り振りや、表示内容などを自由に設定することができます。

帳表選択画面



リストから帳票と日付を指定するだけでExcel形式の帳票表示が可能です。